



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日 東

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,545	20.4	407	72.5	405	73.6	244	95.2
26年12月期第1四半期	4,604	32.8	235	33.4	233	15.7	125	6.9

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 243百万円(243.9%) 26年12月期第1四半期 70百万円(△76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	45.75	—
26年12月期第1四半期	23.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	9,209	7,114	76.2
26年12月期	9,166	6,977	75.1

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 7,017百万円 26年12月期 6,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	13.00	—	20.00	33.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	30.00	—	20.00	50.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 27年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,000	3.7	650	101.2	650	103.1	440	—	82.27
通期	21,000	4.5	1,500	31.0	1,500	24.2	1,000	362.4	186.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	5,349,000株	26年12月期	5,349,000株
27年12月期1Q	465株	26年12月期	465株
27年12月期1Q	5,348,535株	26年12月期1Q	5,348,595株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の下落や消費者マインドの改善等により企業収益の伸びが顕著となり、景気は緩やかな回復傾向を示しながら推移いたしました。

一方、当社業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易については、輸出において対前年比で平成26年下半年以降増加を続けており、当第1四半期連結累計期間においても引き続き順調に回復を示しております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画の2年目となる当期、当第1四半期連結累計期間において、単体では、輸出混載輸送売上が対前年同四半期比で堅調に推移し、輸出フルコンテナ輸送売上においても同様に前年実績を大きく上回りました。一方、連結子会社においても、国内子会社、海外子会社ともおおむね増収増益となり連結業績に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,545百万円（前年同四半期比20.4%増）、営業利益は407百万円（同72.5%増）、経常利益は405百万円（同73.6%増）、四半期純利益は244百万円（同95.2%増）と、売上高、利益とも前年同四半期を大幅に上回りました。

また、当社は、平成27年3月20日付で東京証券取引所市場第1部銘柄に指定され、一段の飛躍を果たすことができました。これを機に、今後とも、全社員一丸となって、企業価値向上のため努力いたす所存でございます。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第1四半期連結累計期間における売上高は、単体の混載及びフルコンテナ輸送売上が堅調に推移したのをはじめ、グループ会社である株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンの大幅増収もあって前年同四半期を大きく上回りました。また、セグメント利益においても同様に大幅増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、3,806百万円と前年同四半期と比べ563百万円（17.4%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は215百万円と前年同四半期と比べ60百万円増加（39.0%増）いたしました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に8つの連結子会社を有しており、これらの子会社での売上は日本からの貨物の取扱が中心となります。当第1四半期連結累計期間における海外売上は、日本発貨物の増加や新規得意先売上の寄与等により、中国、タイ、韓国などで大幅増となり、その他の連結子会社においても概ね順調に推移いたしました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、1,739百万円と前年同四半期と比べ378百万円（27.8%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は197百万円と前年同四半期と比べ100百万円増加（103.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,209百万円（前連結会計年度末比43百万円増加）となりました。増加の主な理由は、売上の増加に伴う売掛金の増加105百万円、有形固定資産の増加26百万円、投資その他の資産の増加20百万円及びその他の流動資産の減少100百万円等であります。

負債は2,095百万円（同93百万円減少）と前年同四半期に比べ減少しましたが、減少の理由は、未払法人税等の減少230百万円及び買掛金の増加91百万円、賞与引当金の増加93百万円等であります。

また、純資産は7,114百万円（同136百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金の増加138百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済の堅調な推移に伴い、わが国の貿易、とりわけ輸出においても回復が順調に進むものを見込んでおります。

このような状況の下、当社グループは、当第2四半期以降、中期経営計画に掲げる諸施策を確実に実行することにより、2016年12月に終了する中期経営計画目標達成に向け一層の努力を傾注いたします。

当連結会計年度（平成27年12月期）の通期連結業績見通しにつきましては、平成27年2月10日に公表いたしましたとおり、連結売上高21,000百万円（前連結会計年度比4.5%増）、連結経常利益1,500百万円（同24.2%増）、連結当期純利益1,000百万円（同362.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、退職給付債務及び勤務費用の計算方法に変更はありません。

この結果、当第1四半期連結累計期間での損益及び純資産に与える影響はありません。

(4) 追加情報

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布されたことに伴い、平成27年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等が変更されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成28年1月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については従来の35.5%から33.0%に、平成29年1月1日以降に解消が見込まれる一時差異等については35.5%から32.2%にそれぞれ変更されます。

その結果、当第1四半期会計期間末の一時差異等を基礎として再計算した場合、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が3,943千円減少し、法人税等調整額が6,491千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,714,483	4,723,058
売掛金	1,535,166	1,640,317
有価証券	200,000	200,000
その他	546,360	445,955
貸倒引当金	△3,124	△3,617
流動資産合計	6,992,886	7,005,713
固定資産		
有形固定資産	639,065	665,406
無形固定資産		
のれん	773,686	752,275
その他	74,362	78,958
無形固定資産合計	848,049	831,233
投資その他の資産		
その他	1,012,187	1,032,482
貸倒引当金	△325,355	△324,936
投資その他の資産合計	686,831	707,546
固定資産合計	2,173,946	2,204,186
資産合計	9,166,832	9,209,899
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,117,280	1,208,399
短期借入金	28,500	7,680
未払法人税等	329,871	99,623
賞与引当金	10,027	103,634
その他	350,671	297,079
流動負債合計	1,836,351	1,716,416
固定負債		
退職給付に係る負債	175,679	180,336
その他	177,195	199,122
固定負債合計	352,874	379,459
負債合計	2,189,226	2,095,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	233,937	233,937
利益剰余金	5,884,542	6,022,282
自己株式	△467	△467
株主資本合計	6,361,949	6,499,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,774	52,350
為替換算調整勘定	483,185	465,003
退職給付に係る調整累計額	△666	—
その他の包括利益累計額合計	526,294	517,354
少数株主持分	89,363	96,980
純資産合計	6,977,606	7,114,023
負債純資産合計	9,166,832	9,209,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,604,358	5,545,843
売上原価	3,362,499	4,040,014
売上総利益	1,241,858	1,505,828
販売費及び一般管理費	1,005,923	1,098,721
営業利益	235,935	407,106
営業外収益		
受取利息	7,151	6,311
為替差益	—	13,146
不動産賃貸料	3,639	5,189
その他	3,200	4,416
営業外収益合計	13,991	29,064
営業外費用		
支払利息	8,119	270
不動産賃貸費用	1,209	1,216
為替差損	4,131	—
支払手数料	1,448	26,079
その他	1,499	3,239
営業外費用合計	16,408	30,805
経常利益	233,518	405,365
特別利益		
固定資産売却益	130	2
特別利益合計	130	2
特別損失		
固定資産除売却損	—	1,273
特別損失合計	—	1,273
税金等調整前四半期純利益	233,648	404,094
法人税、住民税及び事業税	118,540	95,783
法人税等調整額	△14,608	57,048
法人税等合計	103,931	152,832
少数株主損益調整前四半期純利益	129,717	251,261
少数株主利益	4,371	6,550
四半期純利益	125,345	244,710

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,717	251,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,157	8,575
為替換算調整勘定	△56,779	△17,115
退職給付に係る調整額	—	666
その他の包括利益合計	△58,936	△7,873
四半期包括利益	70,780	243,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,129	235,770
少数株主に係る四半期包括利益	3,651	7,617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,243,046	1,361,312	4,604,358	—	4,604,358
セグメント間の内部売上 高又は振替高	67,012	151,683	218,696	△218,696	—
計	3,310,058	1,512,995	4,823,054	△218,696	4,604,358
セグメント利益	155,099	97,409	252,509	△16,573	235,935

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,573千円には、のれん償却額△16,601千円、及びその他調整額28千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,806,424	1,739,418	5,545,843	—	5,545,843
セグメント間の内部売上 高又は振替高	91,896	242,164	334,060	△334,060	—
計	3,898,320	1,981,583	5,879,903	△334,060	5,545,843
セグメント利益	215,654	197,766	413,420	△6,313	407,106

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,313千円には、のれん償却額△6,315千円、及びその他調整額2千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。